



ヒバクシャ地球一周 証言の航海
Global Voyage for a Nuclear-Free World
Peace Boat Hibakusha Project

PEACE
BOAT

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場
3-13-1-B1
TEL: 03-3363-7561
FAX: 03-3363-7562
<http://www.peaceboat.org>

2018年12月

第100回ピースボート「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」

おりづるプロジェクト2018

～核兵器の禁止から廃絶へ 市民の力で進めよう～

プロジェクト概要

●概要

NGOピースボートは2017年にノーベル平和賞を受賞した「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)の国際運営団体の1つです。2008年より「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」を行っています。これまでに170名以上の被爆者とともに地球を周りながら、「核なき世界」へのアピールをしてきました。第100回ピースボート・南半球クルーズ(2018年12月出航)では広島で被爆をし結婚を機にブラジルに移住をした在ブラジル被爆者の渡辺淳子さんがブラジルより乗船し、おりづるユースの森山景さんと共に、核兵器廃絶を訴えていく活動をしていきます。この航海では、ノーベル平和賞のメダルと賞状(公式レプリカ)を携え、世界14カ国17寄港地を訪れ、証言活動を通して核廃絶を訴えます。

●趣旨

今回の航海は、「核兵器の禁止から廃絶へ 市民の力で進めよう」をテーマにします。昨年、核兵器のない世界に向けた歴史的な扉が開かれました。7月には国連で核兵器禁止条約が成立し、これに貢献した核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)が12月にノーベル平和賞を受賞しました。市民の力によって、核兵器は違法な兵器となったのです。

しかしそれでも、核保有国はこの現実を受け入れようとしていません。自らは保有しなくても核兵器への依存を続けている国々も少なくありません。

こうした中、核兵器禁止条約に効力をもたせ、核兵器廃絶を実現するためには、核兵器が人間や社会に何をもたらすのかを伝え、広めていくことが不可欠です。それは、被爆国日本の世界的な責任です。過ちを繰り返してはなりません。

●期間

2018年12月26日(水)～2019年3月31日(日) 横浜発着 計96日間

●主催団体

ピースボート

●参加被爆者 1名 渡辺 淳子(広島被爆)

●参加ユース 1名 森山 景(広島被爆3世)



ヒバクシャ地球一周 証言の航海
Global Voyage for a Nuclear-Free World
Peace Boat Hibakusha Project

PEACE
BOAT

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場
3-13-1-B1
TEL: 03-3363-7561
FAX: 03-3363-7562
<http://www.peaceboat.org>

2018年12月

第100回ピースボート「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」

参加者 略歴

■被爆者



渡辺 淳子（わたなべ・じゅんこ）

広島被爆 1942年11月28日生まれ 被爆当時2歳

ブラジル在住

広島で2歳の時に爆心地より18km地点にて黒い雨を浴びて被爆。1967年に結婚を機にブラジルに移住をした。38歳の時に広島に里帰りをした時に両親より被爆者であることを告げられる。2003年にはブラジル被爆者平和協会に入り現在理事として携わっている。在外・国内被爆者と差別の無い援助を求め政府との交渉や現地での被爆証言・放射能被害者との交流をしてきた。過去3回ピースボート「ヒバクシャ地球一周証言の航海」に参加し世界各地でも被爆証言をしている。

■ユース特使



森山 景（もりやま・けい）

広島出身、東京都在住 現在25歳

被爆3世であり、幼いことから平和活動には従事していた。

高校時代、演劇部にて、毎年オリジナルの原爆劇を作り、8月6日に平和公園で上演をし、コンクールに入賞している。大学でも演劇を続け、社会人になった今も演劇ユニット「aomusi」を旗揚げした。「記憶」と「言葉」に着眼し、反戦・反核をテーマに演劇をしている。

※出航時（2018年12月26日）の年齢を記載しています。